



Level 8-9

2019年度
第2回



検定開始の合図があるまで問題を開いてはいけません。

まず、下記の注意をよく読んでください。

□ 検定上の注意 □

1. 検定時間は60分です。
2. 検定開始前に答案用紙に受検番号・氏名・生年月日を必ず記入してください。
3. 検定が始まって、印刷が見えにくかったり、ページがおかしかったりしたら、手をあげて
監督者に知らせてください。
4. 問題のあいているところは自由に利用してください。
5. 問題は、答案用紙と一緒に回収します。

受検番号

氏名

《問題Ⅰ》 次の問いに答えなさい。

第一問 —— 線部のカタカナを漢字に直しなさい。

(1) 首相が内閣改造のイコウを示した。
新しい体制にイコウする。

(2) 観客からカンキの声上がる。

十分に注意するよう、カンキを促す。

(3) 人々のコウキの目にさらされる。

昔から紫はコウキな色とされていた。

(4) フシシな人物を見かけた。

問題の解決にフシシする。

第二問 次の言葉の意味にあたる二字熟語を、後の漢字を使って作りなさい。

(1) ものごとを成しとげること。

(2) 注意が行き届いて手ばかりがないこと。

(3) 他人の文章や答案などを改め直すこと。

(4) 努力して困難に打ち勝つこと。

完 昇 獲 盜 添 克 発 上
得 奮 遂 綿 服 削 密 作

第三問 次の文の（ ）に当てはまる四字熟語を、後の漢字を組み合わせて作りなさい。また、その意味として適切

なものを、後のア～エの中から選んで答えなさい。

(1) 多少の困難が起きても、（ ）に物事をこなす必要がある。

(2) （ ）のようなやり方では、周囲から不満が出る。

【漢字】

暗 我 臨 一 応 起 機 発
念 変 中 模 水 索 田 引

【意味】

ア あてもなくいろいろ探ること。

イ 自分に都合よく取りはからうこと。

ウ あることを成しとげようと決心すること。

エ その場の変化に応じて処理すること。

第四問 次の言葉を並べかえて、例にならって一文を作りなさい。また——線部のカタカナは、漢字に直しなさい。

ただし、には主語、には述語、——の後には助詞が入ります。解答欄には例のように記入すること。

【例】 通っている に の は 姉 ダイガク 私 。

私——の 姉——は 大学——に 通っている 。

↓
私の姉は大学に通っている。
(解答欄)

(1) 畑 を クジヨする の 父 が 害虫 。

畑——を クジヨする の 父 が 害虫 。

(2) 伝統産業 が を 地域 の ショウレイする 自治体 。

伝統産業——が を 地域 の ショウレイする 自治体 。

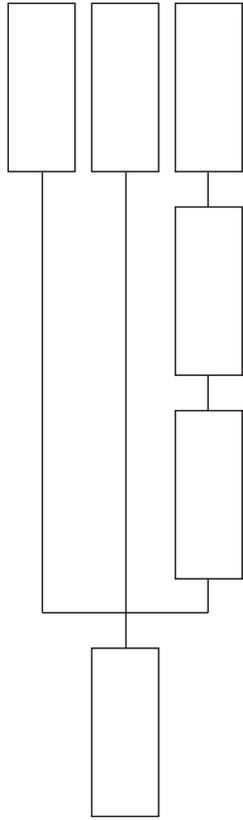
(3) ようやく が に 乗った 事業 キドウ 担当した 。

ようやく——が に 乗った 事業 キドウ 担当した 。

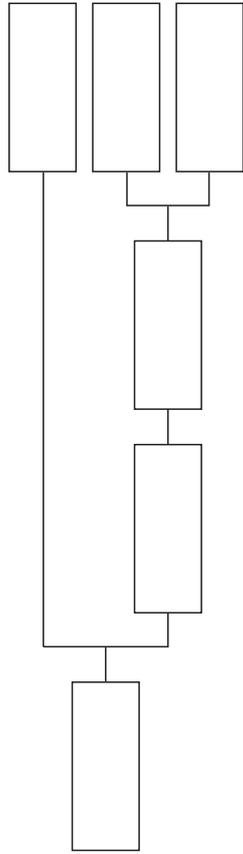
(4) 多くの ある ある フゼイ が 集まっている 寺院 。

多くの ある ある フゼイ が 集まっている 寺院 。

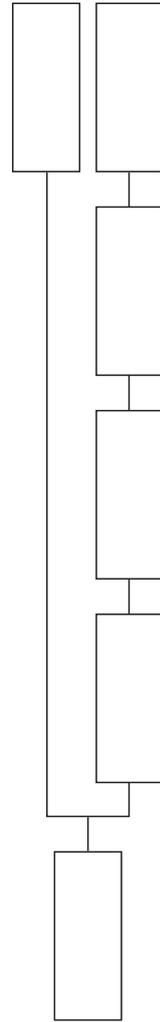
エ



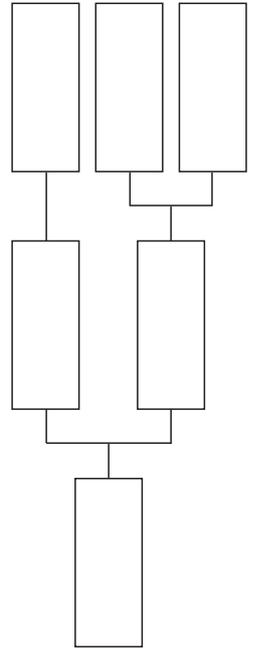
ウ



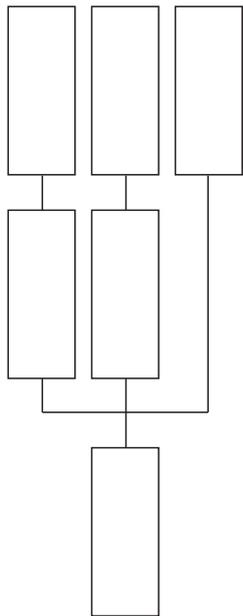
イ



ア



オ



第二問 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「非常時」というなんとなく不気味なしかしはつきりした意味のわかりにくい言葉がはやりだしたのはいつごろからであったか思い出せないが、ただ近来何かしら日本全国土の安寧を脅かす黒雲のようなものが遠い水平線の向こう側からこつそりのぞいているらしいという、言わば取り止めのない悪夢のような不安の陰影が国民全体の意識の底層※一ようえいに揺曳していることは事実である。そうして、その不安の渦巻の回転する中心点はと云えばやはり近き将来に期待される国際的折衝の難関であることはもちろんである。

そういう不安をさらにあおり立ててもするようになり、今年になってからいろいろの天変地異※つくひずが踵かかとを次いでわが国土を襲い、そうしておびただしい人命と財産を奪ったように見える。あの恐ろしい函館はこだての大火や近くは北陸地方の水害の記憶がまだなまなましいうちに、(1) 九月二十一日の近畿地方大風水害が突発して、その損害は容易に評価のできないほど甚大なものであるように見える。国際的のいわゆる「非常時」は、少なくとも現在においては、無形な実証のないものであるが、これらの天変地異の「非常時」は最も具象的な眼前の事実としてその惨状を暴露しているのである。

一家のうちでも、どうかすると、直接の因果関係の考えられないようないろいろな不幸が頻発することがある。

(2) 人はきつと何かしら神秘的な因果応報の作用を想像して祈禱きとうや厄払いの他力にすがろうとする。国土に災禍の続起する場合にも同様である。(3) 統計に関する数理から考えてみると、一家なり一国なりにある年は災禍が重畳した他の年には全く無事な回り合わせが来るということは、純粹な偶然の結果としても当然期待されうる「自然変異」の現象であって、別に必ずしも怪力乱神を語るには当たらないであろうと思われる。(4) 悪い年回りはい

つかは回って来るのが自然の鉄則であると覚悟を定めて、良い年回りの間に充分の用意をしておかなければならないということは、実に明白すぎるほど明白なことであるが、またこれほど万人がきれいに忘れがちなこともまれである。もつともこれを忘れているおかげで今日を楽しむことができるのだという人があるかもしれないのであるが、それは個人めいめいの哲学に任せるとして、少なくとも一国の為政の枢機※3に参与する人々だけは、この健忘症※3に対する診療を常々怠らないようにしてもらいたいと思う次第である。

寺田 寅彦「天災と国防」

※1 揺曳…ゆらゆらとなびくこと。後まで長く尾を引いて残ること。

※2 踵を次ぐ(接ぐ)…物事が続けざまに起きること。

※3 枢機…重要な政務。

問一 — 線部「この健忘症」とは、どういうことですか。七十字以内(句読点を含む)で答えなさい。

問二 (1) (4) に入る接続語をa～eの中から選び、さらにその説明として最も適切なものを、後のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

【接続語】

- a すると b しかし c たとえば d むしろ e さらに

【説明】

- ア 具体例を挙げている。
- イ 空所前文の話の流れをひっくり返している。
- ウ 空所前文と比較して、空所後文を選択している。
- エ 空所前文を前提に、空所後文を付け加えている。
- オ 空所前文の内容に対して、空所後文が予想された結果になる。

《問題Ⅲ》 次の文を読んで、後の問いに答えなさい。

敗戦の年の夏のことを、作家の坂口安吾が苦々しく書いている。「国民は泣いて、ほかならぬ陛下の命令だから、忍びがたいけれども忍んで負けよう、と言う。嘘をつけ！嘘をつけ！嘘をつけ！」。われら国民は（a）をやめたくて仕方がなかったではないかと。（「続墮落論」）

A 天皇が元首だった当時とは違い、（b）と位置づけられる現代である。それでも似たような精神構造をどこかで引きずってはいないだろうか。

B 「（1）」という言葉がある。投票にも行かず政治家や官僚に従うことを指す。同じようにすごく大事なことを「象徴の務め」にまかせて、考えるのを怠ってこなかったか。天皇制という、（c）とはやや異質な仕組みを介して。

C 日本人のそんな振るまいを安吾は、「（2）」と呼んだ。死にたくない、戦争が終わってほしいと切に欲していたのに、自分たちでは何も言えず、（d）の行動と価値観に身をゆだねる。自らを欺く行為に等しいと、安吾には映った。

D (3) を何となくありがたがり、ときに、よりどころにする。そんな姿勢を少しずつ変えていく時期が、来ているのではないか。

E 「(4)」は、平成に入ってから目立つようになった。なかでも第2次大戦の戦地への訪問の一つひとつは、日本の加害の歴史を忘れないようにという試みだったのだろう。平和憲法を体現する道ともいえる。しかし、こうも思う。その営みは、天皇という権威が担えばすむことなのか。

二〇一九年四月二十五日 朝日新聞「天声人語」

第一問 AからEを正しい順番に直して、記号で答えなさい。

第二問 (1) ～ (4) に入る言葉を、次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

- ア 世襲に由来する権威
- イ おまかせ民主主義
- ウ 象徴としての務め
- エ 歴史的(ぎまん)大欺瞞

第三問 (a) (c) (d) に入る言葉を、次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 民主主義 イ 象徴 ウ 戦争 エ 権威

第四問 ——線部「そんな姿勢」をどのように変えていくべきだと筆者は考えているか。「象徴の務め」「平和憲法」の言葉を使って、五十五字以内(句読点を含む)でまとめなさい。

《問題Ⅳ》 次の問いに答えなさい。

第一問 次の語句を並べかえて一文を作成しなさい。ただし、それぞれの文には、不要な語句が二つずつあります。

- (1) 低いと 現在の アポロ11号の 可能だ 言われる コンピューターの
スマートフォンより 性能は 比較して 。
- (2) 太くて 吸収量が 排出の 木の 高いほど 多い 少量の 幹が
二酸化炭素の 背が 。

第二問 次の文章を六十五字以内（句読点を含む）で要約しなさい。

最近、ブルーライトによる体への悪影響について耳にすることが多くあります。しかし、ブルーライトは白色に見える太陽や、蛍光灯の光にも含まれており、私たちの身近に存在しているものです。そのようなものが注目されているのはなぜでしょうか。

これにはスマートフォンが関係しています。スマートフォンなどに使用されているLEDは青色と黄色の2色の光だけを混ぜて白色をつくっているため、多くの色からなる太陽や蛍光灯の光よりもブルーライトの比率が高くなっています。また、ブルーライトの影響は光源からの距離が近いほど大きくなるので、同じようにLEDが使用されているテレビよりもスマートフォンから受ける影響は大きいのです。こうしたことからスマートフォンの普及に伴い、ブルーライ

トによる体への悪影響に注目が集まるようになったのです。

では、ブルーライトの体への悪影響とはどのようなものでしょうか。

一つ目が眼の疲れです。人はものを見るために、無意識のうちに網膜上にピントが合うように眼のレンズの厚さを調節していますが、ブルーライトを多く含むものはピントを合わせづらく、常にピント調節機能が働いた状態になってしまつたため、眼が疲れてしまうのです。

二つ目が体内リズムの乱れです。ブルーライトを浴びると脳内で睡眠を促すメラトニンという物質が分泌されなくなり、体が目覚めて活動的になります。このこと自体は全く問題ありません。むしろ、朝にブルーライトを浴びて体を目覚めさせることは、体内リズムを整えてくれます。しかし、夜にスマートフォンを使用してブルーライトを浴びてしまうと、脳が昼間だと勘違いしてメラトニンが分泌されず、よく眠れなくなってしまうのです。

現代の生活においてスマートフォンは必需品ともいえるものになっていますが、スマートフォン使用の際にはブルーライトによる体への悪影響があるということを理解しておくべきでしょう。

第三問 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

私は何を描いても彫刻家である。彫刻は私の血の中にある。私の彫刻がたといい善くても悪くても、私の宿命的な彫刻家である事には変りがない。

ところでその彫刻家が詩を書く。それにどういいう意味があるか。以前よく、先輩は私に詩を書くのは止せといった。そういう余技にとられる時間と精力とがあるなら、それだけ彫刻にいそしんで、早く彫刻の第一流になれという風に忠告してくれた。それにも拘らず、私は詩を書く事を止めずに居る。

なぜかといえ、私は自分の彫刻を護るために詩を書いているのだからである。自分の彫刻を純粹であらしめるため、彫刻に他の分子の夾雜*きょうざつして来るのを防ぐため、彫刻を文学から独立せしめるために、詩を書くのである。私には多分に彫刻の範囲を逸した表現上の欲望が内在していて、これを如何いかんとも為がたい。その欲望を殺すわけにはゆかない性来を有っていて、そのために学生時代から随分悩まされた。若し私が此この胸中の欲望を言葉によって吐き出す事をしなかつたら、私の彫刻が此の表現をひきうけねばならない。勢い、私の彫刻は多分に文学的になり、何かを物語らなければならなくなる。これは彫刻を病ましめる事である。私は既に学生時代にそういう彫刻をいろいろ作った。たとえば、サーカスの子供の悲劇を主題として群像を作った事がある。これは早朝に浅草の花屋敷へ虎の写生に通っていた頃、或るサーカス団の猛訓練を目撃して、その子供達に対する正義の念から構図を作ったのである。泣いている少女とそれを庇かばっている少年との群像であった。又たとえば、着物が吊つるされてある大きな浮彫を作った事がある。その着物に籠る妖しい鬼気といったようなものを取扱ったのであるが、これも多分に鏡花式の文学分子を含んでいた。又美術学校

の卒業製作には、還俗せんとする僧侶を作った。今思うと随分滑稽な主題と構想とであつて、経巻を破棄して立ち上り、甚だ俄芝居^{にわか}じみた姿態が与えられてあつた。こういう風に私はどうしても彫刻で何かを語らずには居られなかつたのである。この愚劣な彫刻の病気に気づいた私は、その頃ついに短歌を書く事によつて自分の彫刻を護ろうと思つた。その延長が今日の私の詩である。それ故、私の短歌も詩も、叙景や、客観描写のものは甚だ少く、多くは直接法の主観的言志の形をとっている。客観描写の欲望は彫刻の製作によつて満たされているのである。こういうわけで私の詩は自分では自分にとつての一つの安全弁であると思つてゐる。

高村光太郎 『自分と詩との関係』（一部表現を改めた。）

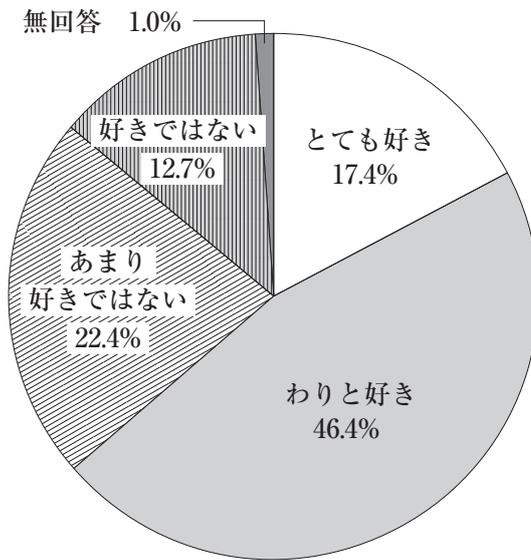
*夾雑…余計なものが混じりこむこと。

問 ——— 線部「私の詩は自分では自分にとつての一つの安全弁であると思つてゐる」とありますが、その理由を五十字

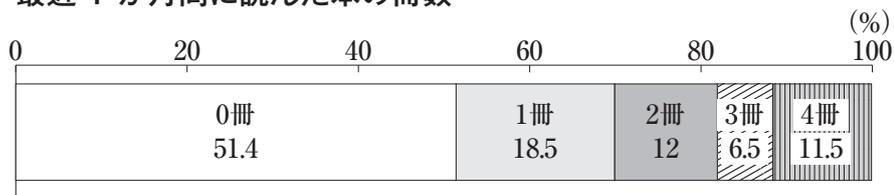
以内（句読点を含む）で説明しなさい。

《問題Ⅴ》以下の資料は、文部科学省が公開している平成二十六年度委託調査「高校生の読書に関する意識等調査報告書」です。これらの資料と会話を読んで、後の問いに答えなさい。

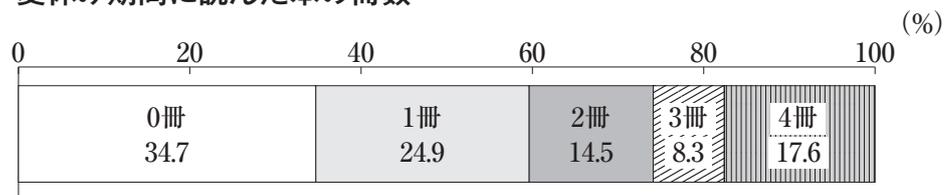
【資料1】 読書が好きかについての意識



【資料2】 最近 1 か月間に読んだ本の冊数



【資料3】 夏休み期間に読んだ本の冊数



【資料4】 地域の図書館や書店・古書店との近接性と生徒の読書量等との関係

着目した点	地域の図書館や書店・古書店が家の近くや通学路の途中にある	いずれも家の近くや通学路の途中にはない
この1か月に読んだ本が「0冊」の割合	49.4%	58.3%
この1か月に読んだ本の平均冊数	1.79冊	1.4冊
夏休みに読んだ本が「0冊」の割合	31.6%	45.5%
夏休みに読んだ本の平均冊数	3.03冊	2.24冊
普段学校のある日に紙の本を「全く読まない」割合	51.1%	57.9%
学校のない休みの日に紙の本を「全く読まない」割合	54.8%	64.3%
学校図書館（図書室）を「ほとんど利用しない」の割合	60.9%	69.5%
地域の図書館（図書室）を「ほとんど利用しない」の割合	59.3%	77.0%
書店・古書店を「ほとんど利用しない」割合	16.4%	37.1%
読書が好きかについて「とても好き」「わりと好き」の合計割合	67.6%	54.9%

【会話文】

さとし…資料1を見て思ったけれど、高校生はみんな読書が好きなんだね。みんなたくさん本を読んだらうな。

しんじ…資料2を見ると、そうでもないみたいだ。読書が好き人が多い割には、「読んだ本が〇冊」の割合が

(1) (1)) と思うな。資料1のデータに反して、本を読む人の割合が (2)) よ。

かおり…資料1のデータと資料2のデータ、一見するとそれぞれから読み取れることが食いちがっているようね。^①

けいこ…食いちがう理由は、資料2、3、4を見ればわかるね。本が好きな人たちの中に、時間や機会がなくて本

を読めない人がいるせいだと思う。

第一問 会話文中の (1)) ・ (2)) には、ア「高い」またはイ「低い」どちらの言葉が入りますか。それぞれ記

号で答えなさい。

第二問 — 線部①「それぞれから読み取れることが食いちがっているようね」とは、どういうことですか。資料をも

とに六十字以内(句読点を含む)で答えなさい。

第三問

——線部②「時間や機会がなくて本を読めない人がいるせいだと思う」と言ったのはなぜですか。資料をもとに理由を二つ挙げ、それぞれ五十字以内(句読点を含む)で述べなさい。

